

2026年度 シラバス

科目名	カラー専攻	区分	選択	単位数	5単位	対象学年	2年
担当教員	阿部 泉 大野 奥田 尾崎 治村 田畑 福森 前田 森山 吉川	実務経験	有			コース	カラーデザインコース
学修内容	毛髪メカニズム、薬剤知識を学び実際の薬剤を使い人頭をきれいに染める 毛髪化学およびカウンセリング、ヘアケア剤の知識習得とアイブロー技術の習得 パーソナルカラーの基礎知識・応用知識の習得。色による顔の見え方の違いやに合う色の診断方法、 ファッションコーディネートや配色技法など、パーソナルカラーを応用したイメージコンサルティングを学び、 実践方法を習得する。						
到達目標	薬剤を調合し求める色をきれいに染める、ヘアケアマイスタープライマリーコース合格 検定「モジュール2」を取得する						
授業の方法	授業は実習を中心に行う 必要事項を板書し、トレーニングクリームだけでなく実際の薬剤を使用する						
成績評価の方法と基準	後期1回の筆記試験および実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。 成績評価はA,B,C,Dで表し、A,B,Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	特になし						
実務経験に基づく授業内容	毛髪の状態をしっかりと見極め、的確な薬剤を選択する。毛髪理論や薬剤学などの理論をふまえ、カラー塗布全般の技術をレクチャーします。現役美容室として現場の体験談を交えながら分かりやすく、興味を持っていただけるように指導します。						
使用教材	JHCAヘアカラー入門 ウィッグカラー用具一式、メイク道具一式、ヘアケアマイスターブック 色彩技能パーソナルカラー検定公式テキスト中級、パーソナルカラー配色カード、日本色研新配色カード199a						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容					備 考
第1回	カラーコースの流れ	カリキュラムの説明					
第2回	グレイカラー	塗布順、注意点を伝えデモンストレーション					
第3回	グレイカラー	全頭塗布					
第4回	グレイカラー	2人1組でスタイリスト役、アシスタント役に分かれて塗布 アシスタント役はスタイリスト役のサポートをする					
第5回	グレイカラー						
第6回	ワンメイクカラー	中間塗布					
第7回	ワンメイクカラー	根元を1cm空けて染毛へ					
第8回	ワンメイクカラー	1cmオーバーラップ					
第9回	ワンメイクカラー	中間塗布後 毛先の塗布					
第10回	ファッションカラー	毛先の塗布					
第11回	ファッションカラー	根元の塗布					
第12回	ファッションカラー	2人1組でウィッグのファッションカラー塗布					
第13回	ファッションカラー						
第14回	毛髪理論	髪構造					
第15回	ファッションカラー	2人1組で塗布					
第16回	ファッションカラー						
第17回	毛髪理論	髪の色 メラニン色素					
第18回	毛束染毛	黒髪を4本使い5分、10分、20分、30分で どのくらい明るくなるかをチェック					
第19回	毛束染毛						
第20回	色彩学	明度、彩度、色相					
第21回	色彩学	色のイメージ					
第22回	色彩学	カラーサークル補色					
第23回	色彩学	絵の具を使用し色を混ぜる カラーサークル作成					
第24回	色彩学						
第25回	色彩学	メラニン色素をイメージして明度軸を作成					
第26回	薬剤理論	脱染剤、脱色剤					
第27回	薬剤理論	脱染剤、脱色剤					
第28回	相モデル色決め	ペアで薬剤を決める					
第29回	相モデル	モデル実習					
第30回	相モデル						
第31回	相モデル						
第32回	酸性カラー	理論					
第33回	酸性カラー	ウィッグ塗布					
第34回	酸性カラー						
第35回	酸性カラー	毛束染毛					
第36回	酸性カラー	ウィッグ塗布					
第37回	酸性カラー						
第38回	パレイヤーージュ	理論、デモンストレーション					
第39回	パレイヤーージュ	ウィッグ塗布					
第40回	パレイヤーージュ						

2026年度 シラバス

科目名	カラー専攻	区分	選択	単位数	5単位	対象学年	2年
担当教員	阿部 泉 大野 奥田 尾崎 治村 田畑 福森 前田 森山 吉川	実務経験	有			コース	カラーデザインコース
学修内容	毛髪のコメカニズム、薬剤の知識を学び実際の薬剤を使い人頭をきれいに染める 毛髪化学およびカウンセリング、ヘアケア剤の知識習得とアイブロー技術の習得 パーソナルカラーの基礎知識・応用知識の習得。色による顔の見え方の違いや合う色の診断方法、 ファッションコーディネートや配色技法など、パーソナルカラーを応用したイメージコンサルティングを学び、 実践方法を習得する。						
到達目標	薬剤を調合し求める色をきれいに染める、ヘアケアマイスタープライマリーコース合格 検定「モジュール2」を取得する						
授業の方法	授業は実習を中心に行う 必要事項を板書し、トレーニングクリームだけでなく実際の薬剤を使用する						
成績評価の方法と基準	後期1回の筆記試験および実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。 成績評価はA,B,C,Dで表し、A,B,Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の 具体的内容	特になし						
実務経験に基づく授業内容	毛髪の状態をしっかり見極め、的確な薬剤を選択する。毛髪理論や薬剤学などの理論をふまえ、カラー塗布全般 の技術をレクチャーします。現役美容室として現場の体験談を交えながら分かりやすく、興味を持っていただ けるように指導します。						
使用教材	JHCAヘアカラー入門 ウィッグカラー用具一式、メイク道具一式、ヘアケアマイスターブック 色彩技能パーソナルカラー検定公式テキスト中級、パーソナルカラー配色カード、日本色研新配色カード199a						
履修に 当たっての 留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容					備 考
第41回	薬剤理論	薬剤の種類					
第42回	薬剤理論	酸化染毛剤					
第43回	薬剤理論	薬剤のMix					
第44回	薬剤理論	パッチテスト					
第45回	ホイルワーク	ブロッキング（11ブロック）					
第46回	ホイルワーク	スライシング デモンストレーション					
第47回	ホイルワーク	スライシング					
第48回	ホイルワーク	ウィービング デモンストレーション					
第49回	ホイルワーク	ウィービング					
第50回	カラーデザイン	人頭デモンストレーション					
第51回	カラーデザイン	人頭デモンストレーション					
第52回	カラーデザイン	人頭デモンストレーション					
第53回	カラーデザイン	ゾーン、セクション理論					
第54回	カラーデザイン	色の配色、組合せ					
第55回	カラーデザイン	顔学、丸顔、三角顔などのイメージ					
第56回	スタイリング	カラーを生かした巻きやアレンジ					
第57回	スタイリング						
第58回	フォト	写真の撮り方 写真の加工					
第59回	フォト						
第60回	フォト						
第61回	薬剤理論	パブリック商品との違い					
第62回	薬剤理論	薬剤カラーと塩基性カラーの違い					
第63回	薬剤理論	相モデルの薬剤設定					
第64回	相モデル	モデル実習					
第65回	相モデル						
第66回	相モデル						
第67回	カウンセリング	現状の分析をし希望の色にするための 薬剤を明確にする					
第68回	カウンセリング						
第69回	ホイルワーク	ウィービング					
第70回	ホイルワーク	ウィービング（縦貼り）					
第71回	ホイルワーク	ウィービング（縦貼り）					
第72回	ホイルワーク	ウィービング					
第73回	ホイルワーク	ホイルの間を塗布					
第74回	ホイルワーク	ホイルの間を塗布					
第75回	ホイルワーク	パタフライチップ					
第76回	ホイルワーク	リタッチ					
第77回	ホイルワーク	バックコーム					
第78回	ブリーチ剤	ムラができないよう薬剤のコントロール スピードアップ					
第79回	ブリーチ剤						
第80回	ブリーチ剤						

2026年度 シラバス

科目名	カラー専攻	区分	選択	単位数	5単位	対象学年	2年
担当教員	阿部 泉 大野 奥田 尾崎 治村 田畑 福森 前田 森山 吉川	実務経験	有			コース	カラーデザインコース
学修内容	毛髪メカニズム、薬剤の知識を学び実際の薬剤を使い人頭をきれいに染める 毛髪化学およびカウンセリング、ヘアケア剤の知識習得とアイブロウ技術の習得 パーソナルカラーの基礎知識・応用知識の習得。色による顔の見え方の違いや合う色の診断方法、 ファッションコーディネートや配色技法など、パーソナルカラーを応用したイメージコンサルティングを学び、 実践方法を習得する。						
到達目標	薬剤を調合し求める色をきれいに染める、ヘアケアマイスタープライマリーコース合格 検定「モジュール2」を取得する						
授業の方法	授業は実習を中心に行う 必要事項を板書し、トレーニングクリームだけでなく実際の薬剤を使用する						
成績評価の方法と基準	後期1回の筆記試験および実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。 成績評価はA,B,C,Dで表し、A,B,Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	特になし						
実務経験に基づく授業内容	毛髪の状態をしっかりと見極め、的確な薬剤を選択する。毛髪理論や薬剤学などの理論をふまえ、カラー塗布全般の技術をレクチャーします。現役美容室として現場の体験談を交えながら分かりやすく、興味を持っていただけるように指導します。						
使用教材	JHCAヘアカラー入門 ウィッグカラー用具一式、メイク道具一式、ヘアケアマイスターブック 色彩技能パーソナルカラー検定公式テキスト中級、パーソナルカラー配色カード、日本色研新配色カード199a						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容					備 考
第81回	酸性カラー塗布	薬剤を使って塗布 頭皮につかないように					
第82回	酸性カラー塗布						
第83回	酸性カラー塗布						
第84回	薬剤理論	グレー系薬剤の説明 白髪のある毛束を使用					
第85回	薬剤理論						
第86回	薬剤理論						
第87回	カット	ワンレングス、グラデーション、レイヤーの説明					有効なデザイン
第88回	カット	ショート、ボブ、ミディアム、ロング					
第89回	カット	ブレイズメント					
第90回	カット	セニング					
第91回	ホイルワーク	スライスを斜めや縦にとってずれないように塗布					
第92回	ホイルワーク						
第93回	ホイルワーク						
第94回	ホイルワーク	ブロッキングしてタイム測定					
第95回	薬剤選定	相モデルに向けて薬剤の決定					
第96回	薬剤選定						
第97回	相モデル						
第98回	相モデル	2人1組でモデルと技術者に分かれて実践					
第99回	終了制作	ウィッグを使い学んだ技術や理論を基に 自由にデザインを作る					
第100回	終了制作						
第101回	相モデル						
第102回	相モデル	2人1組でモデルと技術者に分かれて実践					
第103回	1年間の復習	学んだ理論を1つ1つ復習					
第104回	1年間の復習						
第105回	1年間の復習						
第106回	オリエンテーション	講師紹介 パーソナルカラーアナリストについて					
第107回	色素	色素チェックシート制作 肌の見え方					
第108回	色の属性と効果①	色の属性と性質 色相の違いによる顔の見え方					
第109回	色の属性と効果②	明度・彩度の違いによる顔の見え方					

2026年度 シラバス

科目名	カラー専攻	区分	選択	単位数	5単位	対象学年	2年
担当教員	阿部 泉 大野 奥田 尾崎 治村 田畑 福森 前田 森山 吉川	実務経験	有			コース	カラーデザインコース
学修内容	毛髪のコメカニズム、薬剤の知識を学び実際の薬剤を使い人頭をきれいに染める 毛髪化学およびカウンセリング、ヘアケア剤の知識習得とアイブロウ技術の習得 パーソナルカラーの基礎知識・応用知識の習得。色による顔の見え方の違いやに合う色の診断方法、 ファッションコーディネートや配色技法など、パーソナルカラーを応用したイメージコンサルティングを学び、 実践方法を習得する。						
到達目標	薬剤を調合し求める色をきれいに染める、ヘアケアマイスタープライマリーコース合格 検定「モジュール2」を取得する						
授業の方法	授業は実習を中心に行う 必要事項を板書し、トレーニングクリームだけでなく実際の薬剤を使用する						
成績評価の方法と基準	後期1回の筆記試験および実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。 成績評価はA,B,C,Dで表し、A,B,Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の 具体的内容	特になし						
実務経験に基づく授業内容	毛髪の状態をしっかり見極め、的確な薬剤を選択する。毛髪理論や薬剤学などの理論をふまえ、カラー塗布全般の技術をレクチャーします。現役美容室として現場の体験談を交えながら分かりやすく、興味を持っていただけるように指導します。						
使用教材	JHCAヘアカラー入門 ウィッグカラー用具一式、メイク道具一式、ヘアケアマイスターブック 色彩技能パーソナルカラー検定公式テキスト中級、パーソナルカラー配色カード、日本色研新配色カード199a						
履修に 当たっての 留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容					備 考
第110回	色の属性と効果③	青色・濁色の違いによる顔の見え方					
第111回	色の属性と効果④	属性の複合的な効果の活用					
第112回	表色系①	マンセル表色系の三属性 マンセル色相環					
第113回	表色系②	マンセルの明度と彩度 等色相面					
第114回	表色系③	PCCS 色名					
第115回	表色系④	色名とパーソナルカラー					
第116回	色が見える仕組みと パーソナルカラー①	光源の特性 分光分布					
第117回	色が見える仕組みと パーソナルカラー②	色温度 照度 演色性 反射の種類					
第118回	色が見える仕組みと パーソナルカラー③	肌の色素 目の構造と働き					
第119回	色が見える仕組みと パーソナルカラー④	目の各部位の働き 混色					
第120回	配色法①	アナロジー配色 コントラスト配色					
第121回	配色法②	色相の分割による配色法					
第122回	配色法③	色彩調和論					
第123回	配色法④	配色コラージュ制作					
第124回	フォーシーズン 分類①	「春」「夏」の属性とイメージ					
第125回	フォーシーズン 分類②	「秋」「冬」の属性とイメージ					
第126回	フォーシーズン アレンジ①	「春」「夏」のコーディネートと色					
第127回	フォーシーズン アレンジ②	「秋」「冬」のコーディネートと色					
第128回	フォーシーズン アレンジ③	「春」「夏」メイク ヘアカラー ヘアスタイル					
第129回	フォーシーズン アレンジ④	「秋」「冬」メイク ヘアカラー ヘアスタイル					
第130回	パーソナルカラー コラージュ制作①	「春」コラージュ制作					
第131回	パーソナルカラー コラージュ制作②	「夏」コラージュ制作					
第132回	パーソナルカラー コラージュ制作③	「秋」コラージュ制作					

2026年度 シラバス

科目名	カラー専攻	区分	選択	単位数	5単位	対象学年	2年
担当教員	阿部 泉 大野 奥田 尾崎 治村 田畑 福森 前田 森山 吉川	実務経験	有			コース	カラーデザインコース
学修内容	毛髪メカニズム、薬剤の知識を学び実際の薬剤を使い人頭をきれいに染める 毛髪化学およびカウンセリング、ヘアケア剤の知識習得とアイブロウ技術の習得 パーソナルカラーの基礎知識・応用知識の習得。色による顔の見え方の違いやに合う色の診断方法、 ファッションコーディネートや配色技法など、パーソナルカラーを応用したイメージコンサルティングを学び、 実践方法を習得する。						
到達目標	薬剤を調合し求める色をきれいに染める、ヘアケアマイスタープライマリーコース合格 検定「モジュール2」を取得する						
授業の方法	授業は実習を中心に行う 必要事項を板書し、トレーニングクリームだけでなく実際の薬剤を使用する						
成績評価の方法と基準	後期1回の筆記試験および実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。 成績評価はA,B,C,Dで表し、A,B,Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	特になし						
実務経験に基づく授業内容	毛髪の状態をしっかり見極め、的確な薬剤を選択する。毛髪理論や薬剤学などの理論をふまえ、カラー塗布全般の技術をレクチャーします。現役美容室として現場の体験談を交えながら分かりやすく、興味を持っていただけるように指導します。						
使用教材	JHCAヘアカラー入門 ウィッグカラー用具一式、メイク道具一式、ヘアケアマイスターブック 色彩技能パーソナルカラー検定公式テキスト中級、パーソナルカラー配色カード、日本色研新配色カード199a						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容					備 考
第133回	パーソナルカラー カラーージュ制作④	「冬」カラーージュ制作					
第134回	定期テスト	定期試験					
第135回	定期テスト	定期試験 解答と解説					
第136回	序章～第一章 毛髪化学	ヘアケアマイスター教科書を使用して、主題の解説					
第137回	第一章 毛髪化学	ヘアケアマイスター教科書を使用して、主題の解説					
第138回	第二章 毛髪のカウンセリング	ヘアケアマイスター教科書を使用して、主題の解説					
第139回	第三章 ヘアケア剤	ヘアケアマイスター教科書を使用して、主題の解説					
第140回	復習	学習範囲の復習プリント					
第141回	復習	試験問題を想定した練習プリント					
第142回	アイブロウとは	上がり眉や下がり眉など眉の印象の変化について学ぶ 眉の名称 バランスの良い毛の流れ、描き方 アイブロウコスメの種類、眉に合わせた選び方、眉色の選び方					
第143回	描き方	前回授業の復習と共に確認 アイブロウ道具の商品名から使い方、手の動かし方 自眉にバランス良く自身で描いていく 眉のお手入れ方法（カットの仕方） アイブロウシザーズの持ち方、指の動かし方 安全に怪我がないよう手の甲や腕の毛でアイブロウカット練習					
第144回							
第145回	アイブロウシザーズ &実技	前回授業の復習確認 デモンストレーションにてアイブロウを整え描いてみせる 相モデルで似合わせアイブロウ実技&話法確認					
第146回							
第147回	似合わせアイブロウ	相手を変えてシザーズ&似合わせ実技&話法					
第148回							
第149回	最終アイブロウ	右眉にクールな眉実技&左眉にキュートな眉実技 話法確認					
第150回							